

投資目的別にみた

SPDR®の注目銘柄

2020年11月28日（土）楽天証券ETFカンファレンス2020

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズのETF

～ SPDR® ブランドのETFを中心に世界展開

- 約**3.0兆米ドル**の運用資産額を有する世界屈指の運用機関
- **米国初のETF【SPY】**を上場したETFのパイオニア
- ETFに係る運用資産額は約7,670億米ドルで**世界第3位**
- さまざまな投資対象のETFを、主に**SPDR®（スパイダー）**のブランド名で展開
- 全**52銘柄**※の外国ETFを国内向けに展開

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2020年6月末時点、ただし※は2020年10月30日時点）

上記運用資産額は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの関連会社がマーケティング・エージェントを務めるETF（ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが運用会社を務めていないETF）に係る運用資産額を含んでいます。

上記運用資産額は未監査の数値です。上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。

投資目的の例

- 配当利回りを重視したい
- 相場観に合う投資テーマを自身で選びたい
- 株式のリスク分散を図りたい
- 長期運用ポートフォリオを低コストで組みたい

投資目的の例

- **配当利回り**を重視したい
- 相場観に合う投資テーマを自身で選びたい
- 株式のリスク分散を図りたい
- 長期運用ポートフォリオを低コストで組みたい

配当利回りで注目される銘柄の例

SPYD

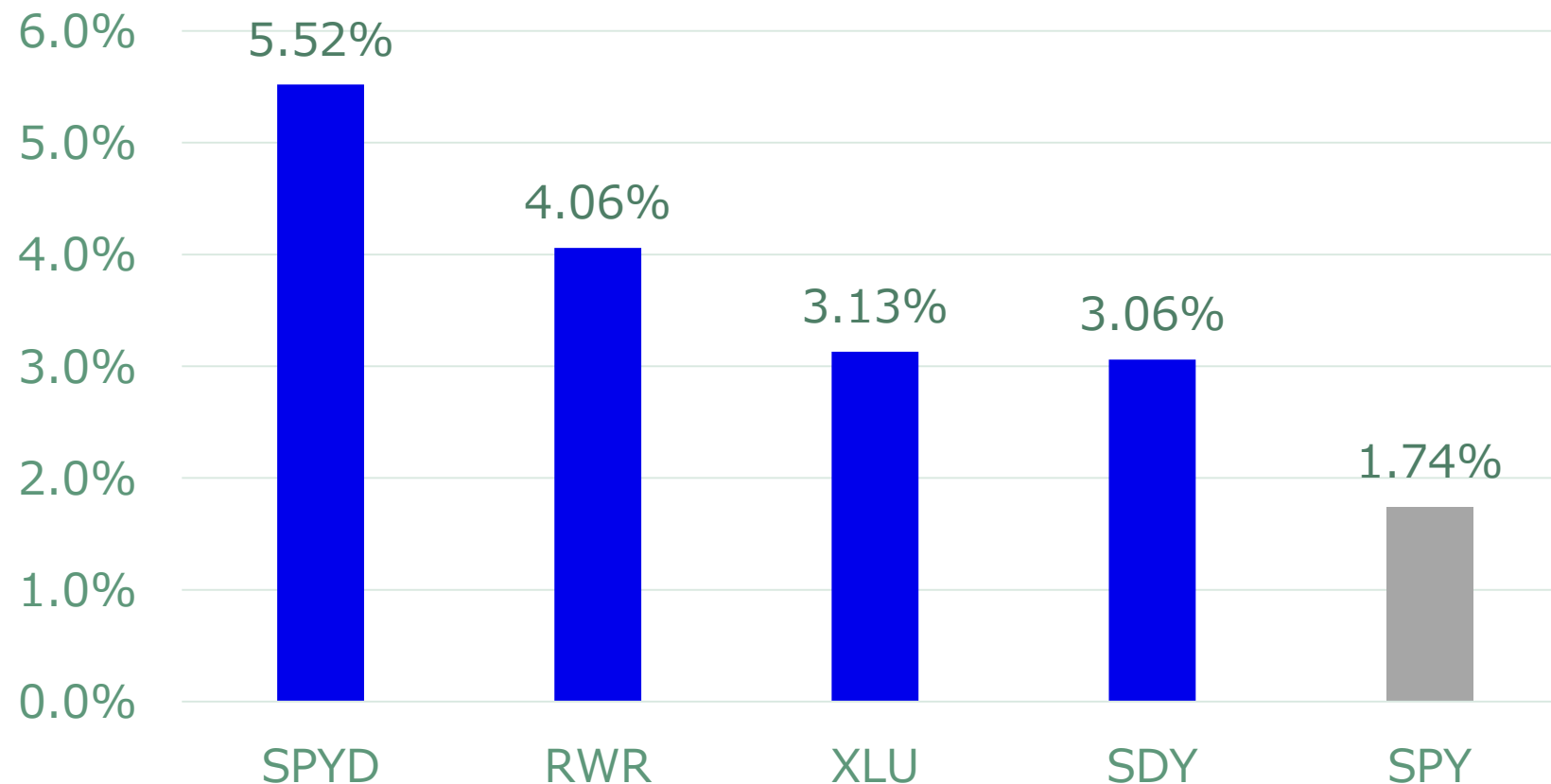
SDY

RWR

XLU

配当利回りの比較

(米ドル建て、2020年10月30日時点)



出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
各ETFの配当利回りは2020年10月30日時点の数値であり、将来の配当利回り水準を保証するものではありません。

【SPYD】

SPDR[®] ポートフォリオ S&P 500[®] 高配当株式ETF

ベンチマーク	S&P500 高配当指数
ファンド籍／基準通貨	米国 / 米ドル
ファンド開始日	2015年10月21日
純資産総額	約19.4億米ドル
組入れ銘柄数	79銘柄（現金その他を除く）
1口当たり基準価額	27.57米ドル
運用に係る経費率	年率0.07%
分配頻度	原則として四半期毎（米国での落ち日ベース）
分配金利回り	5.52%（基準価額ベース）

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2020年10月30日時点）
上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。あるいは変更されることがあります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

【SDY】

SPDR® S&P® 米国高配当株式ETF

ベンチマーク	S&P 高配当貴族指数
ファンド籍／基準通貨	米国 / 米ドル
ファンド開始日	2005年11月8日
純資産総額	約158.6億米ドル
組入れ銘柄数	117銘柄（現金その他を除く）
1口当たり基準価額	92.43米ドル
運用に係る経費率	年率0.35%
分配頻度	原則として四半期毎（米国での落ち日ベース）
分配金利回り	3.06%（基準価額ベース）

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2020年10月30日時点）
上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。あるいは変更されることがあります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

【XLU】

公益事業セレクト・セクターSPDR® ファンド

ベンチマーク	公益事業セレクト・セクター指数
ファンド籍／基準通貨	米国 / 米ドル
ファンド開始日	1998年12月16日
純資産総額	約116.7億米ドル
組入れ銘柄数	28銘柄（現金その他を除く）
1口当たり基準価額	62.38米ドル
運用に係る経費率	年率0.13%
分配頻度	原則として四半期毎（米国での落ち日ベース）
分配金利回り	3.13%（基準価額ベース）

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2020年10月30日時点）
上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。あるいは変更されることがあります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

【RWR】

SPDR® ダウ・ジョーンズREIT ETF

ベンチマーク	ダウ・ジョーンズ米国セレクトREIT指数
ファンド籍／基準通貨	米国 / 米ドル
ファンド開始日	2001年4月23日
純資産総額	約11.8億米ドル
組入れ銘柄数	115銘柄（現金その他を除く）
1口当たり基準価額	76.00米ドル
運用に係る経費率	年率0.25%
分配頻度	原則として四半期毎（米国での落ち日ベース）
分配金利回り	4.06%（基準価額ベース）

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（2020年10月30日時点）
上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。あるいは変更されることがあります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

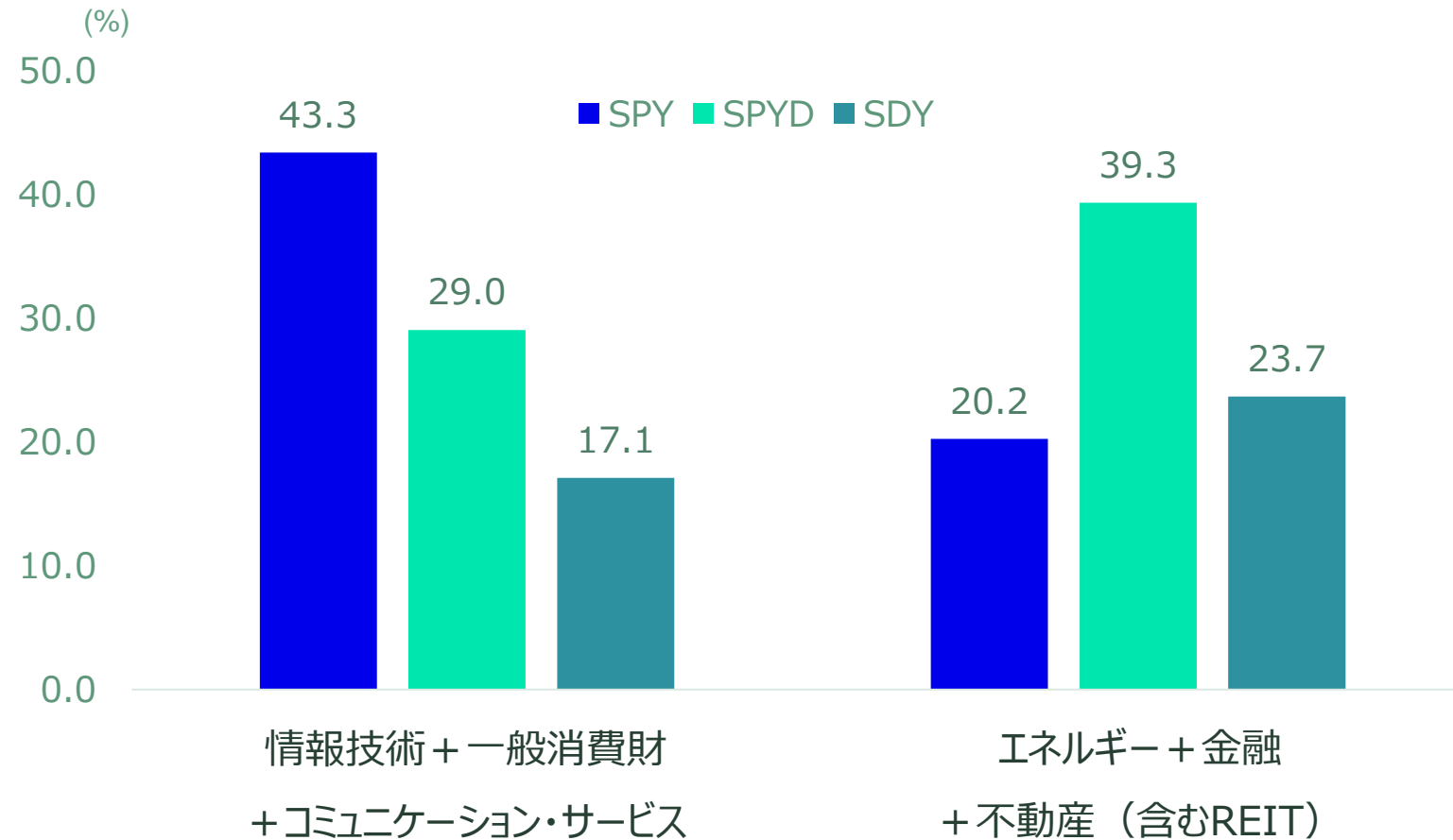
ベンチマークの比較

	S&P500 高配当指数	S&P高配当貴族指数
ユニバース	S&P500 (大型株)	S&P1500 (中小型株を含む)
指数構成銘柄の 採用基準	予想 配当利回り	過去20年連続で 増配
構成銘柄数 (リバランス時)	80銘柄	制限なし (直近は117銘柄)
構成比率	均等	予想配当利回りで加重

時価総額で構成比率が決まるS&P500とは根本的に異なる

2020年10月30日時点。指数の採用基準等は将来変更となる可能性があります。
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

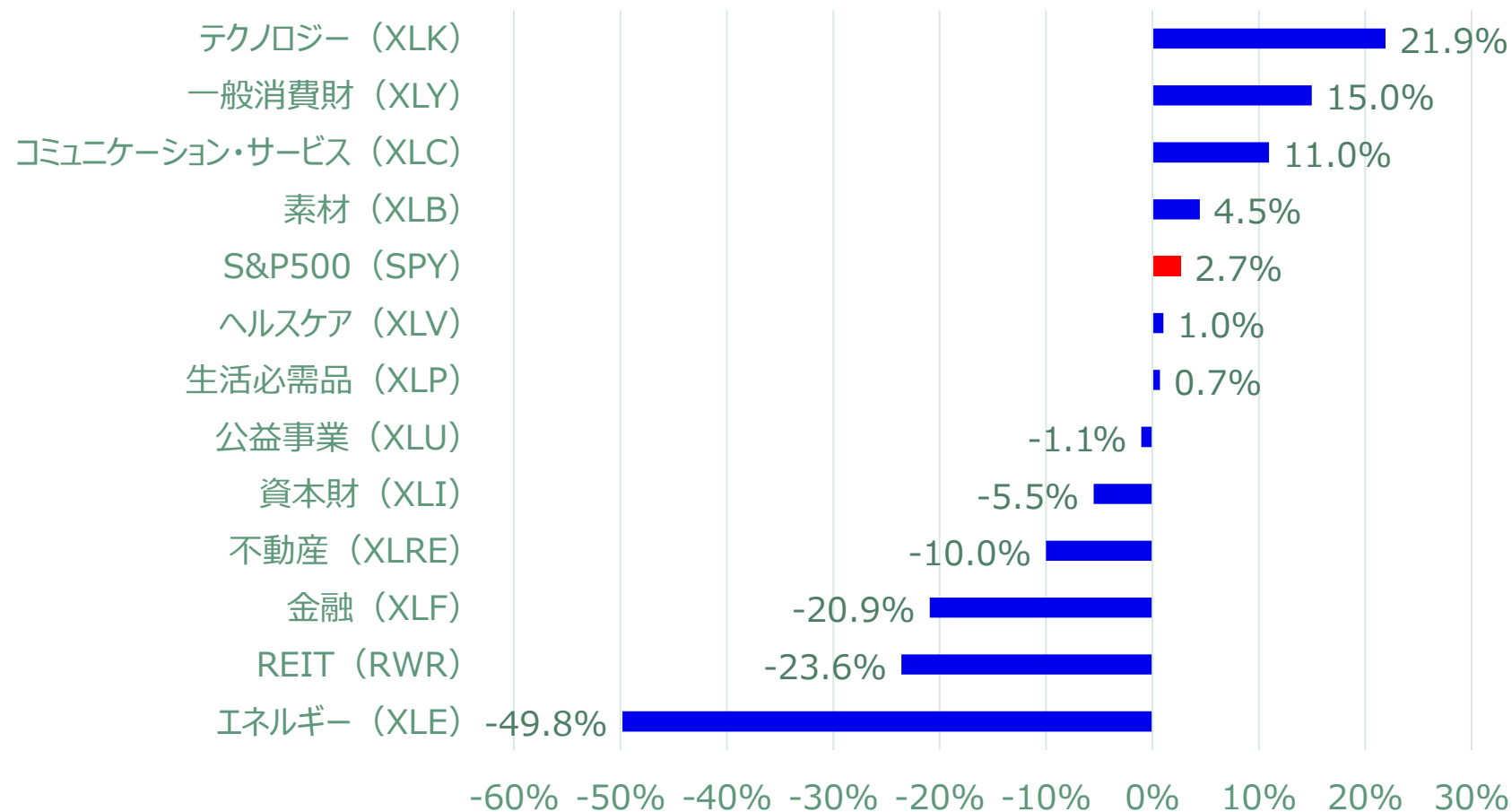
セクター別配分の違い



2019年12月31日時点のセクター別配分に基づいて集計。上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

米国セクター別の年初来パフォーマンス

(米ドル建て、配当金再投資ベース)



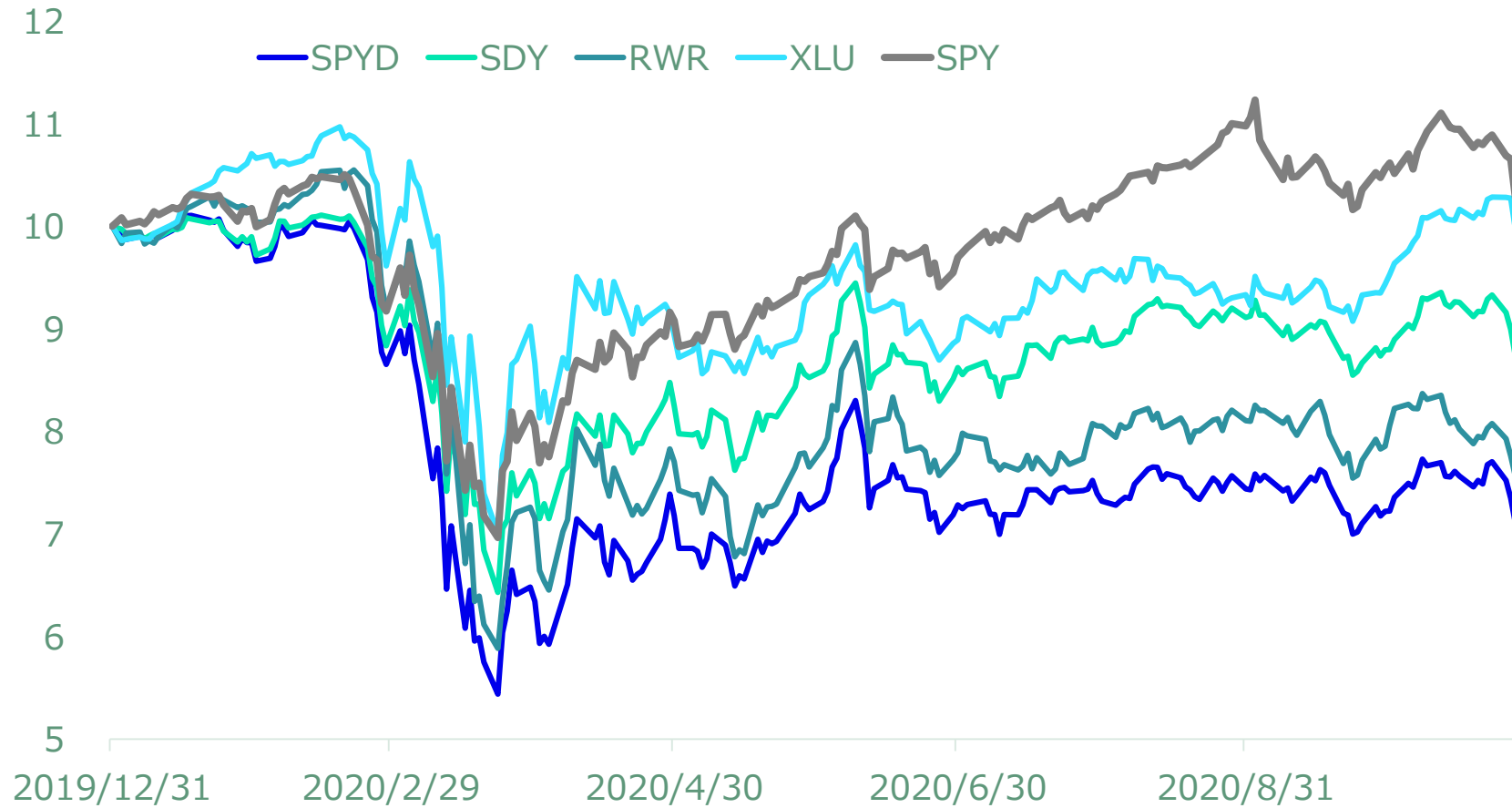
REIT(RWR)はGICS11種類のセクターには該当しません。

期間：2019年12月31日から2020年10月30日。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

年初来のパフォーマンス

(米ドル建て、分配金再投資ベース)



期間：2019年12月31日から2020年10月30日。分配金再投資ベース
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

リスク特性の違いを理解しよう

配当利回りを高める
「戦略」

SPYD

SDY

配当利回りが高い
「業種」

RWR

XLU

投資目的の例

- 配当利回りを重視したい
- 相場観に合う投資テーマを自身で選びたい
- 株式のリスク分散を図りたい
- 長期運用ポートフォリオを低コストで組みたい

セレクト・セクターSPDR®ファンド・シリーズ

- 全11種類の米国株のセクター（業種別）指数への連動を目指すETF
- 指数は、**S&P 500® 指数の全構成銘柄を世界産業分類基準（GICS）に基づいて11種類に分類したそれぞれの銘柄群※¹**で構成される
- 運用に係る経費率は年率で0.13%※²、分配頻度は原則として四半期毎

※ 1）各指数への個別銘柄の組入れ比率には上限調整がなされるため、11種類の指数を単純に組み合わせてもS&P 500® 指数と同じにはならない

※ 2）XLCのみ0.1345%を上限とする

11種類のセクターETF①

セクター	ティッカー	主な産業
素材	XLB	化学、金属鉱業、建設素材
コミュニケーション・サービス	XLC	双方向メディア、通信サービス
エネルギー	XLE	石油・ガス、消耗燃料
金融	XLF	銀行、資本市場、保険
資本財	XLI	機械、航空宇宙・防衛、道路・鉄道
テクノロジー	XLK	テクノロジー機器、ソフトウェア、半導体

2020年10月30日時点。セクターの分類は将来変更される場合があります。
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

11種類のセクターETF②

セクター	ティッカー	主な産業
生活必需品	XLP	食品・生活必需品小売、家庭用品
不動産	XLRE	不動産管理・開発、REIT
公益事業	XLU	電気、水道、ガス、発電事業
ヘルスケア	XLV	医薬品、バイオテクノロジー
一般消費財	XLY	小売、家庭用耐久財、自動車

2020年10月30日時点。セクターの分類は将来変更される場合があります。
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

入れ替わる投資テーマ

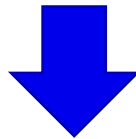
パフォーマンス上位3セクター（米ドル建て、配当金再投資ベース）

2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 10月
XLK (▲12.0%)	XLE (+31.9%)	XLY (+15.3%)	XLU (+5.0%)
XLV (▲12.7%)	XLY (+30.6%)	XLB (+13.4%)	XLC (▲0.4%)
XLP (▲13.0%)	XLK (+30.4%)	XLI (+12.4%)	XLB (▲0.7%)

2020年10月30日時点。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

セクター指数へ投資するメリット

- 有望と考えるテーマ（業種）への効率的かつ簡便な投資
- 銘柄固有リスクの分散・低減



相場観を効率的に反映するツール

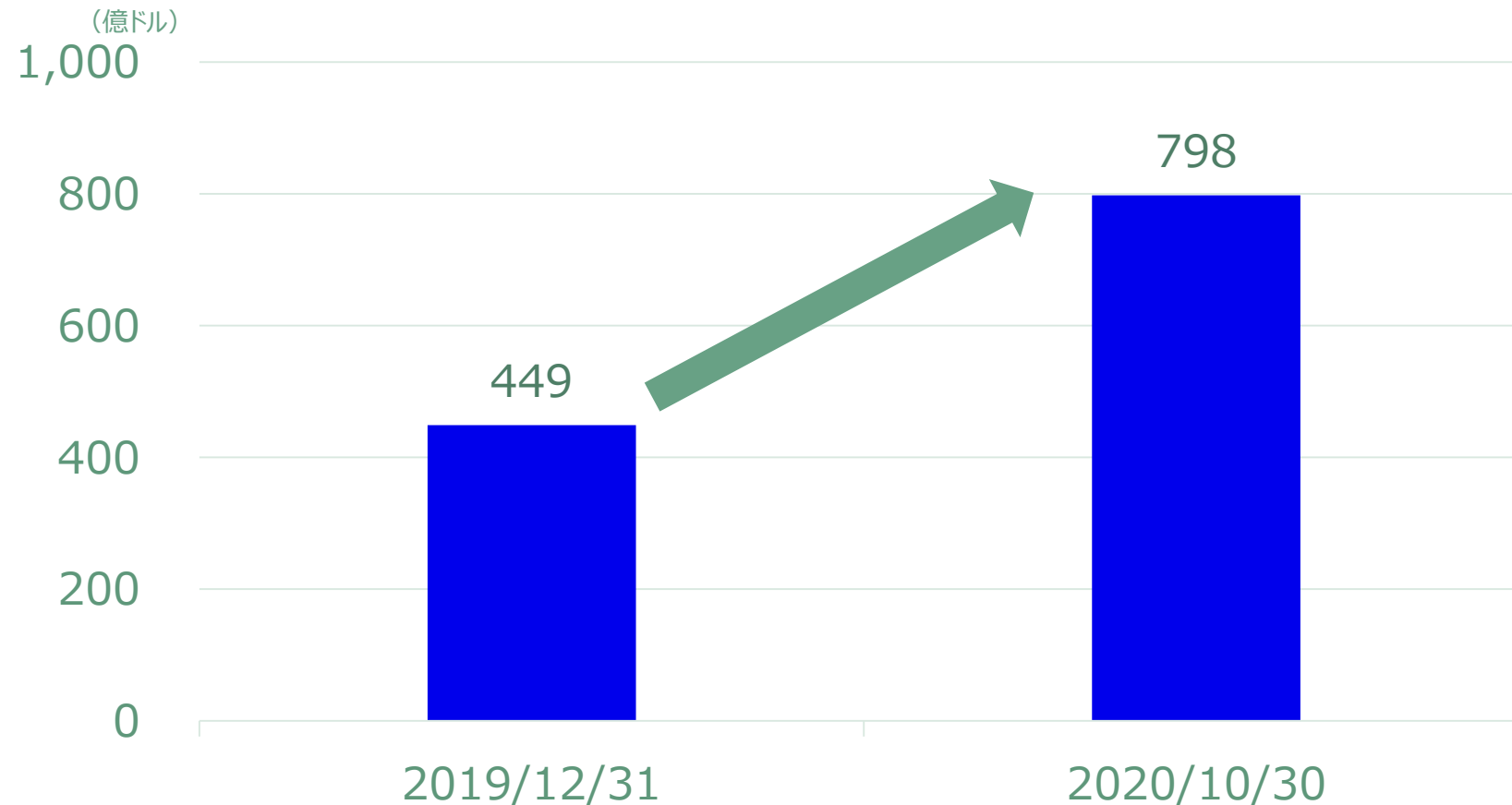
指数への直接投資はできないため、実際にはETF等の金融商品を通じて投資することになります。金融商品への投資に当たっては費用が発生します。

投資目的の例

- 配当利回りを重視したい
- 相場観に合う投資テーマを自身で選びたい
- 株式のリスク分散を図りたい
- 長期運用ポートフォリオを低コストで組みたい

SPDRの金ETFの残高

(GLDとGLDMの合計、米ドル建て)



出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

投資商品としての金の位置づけ

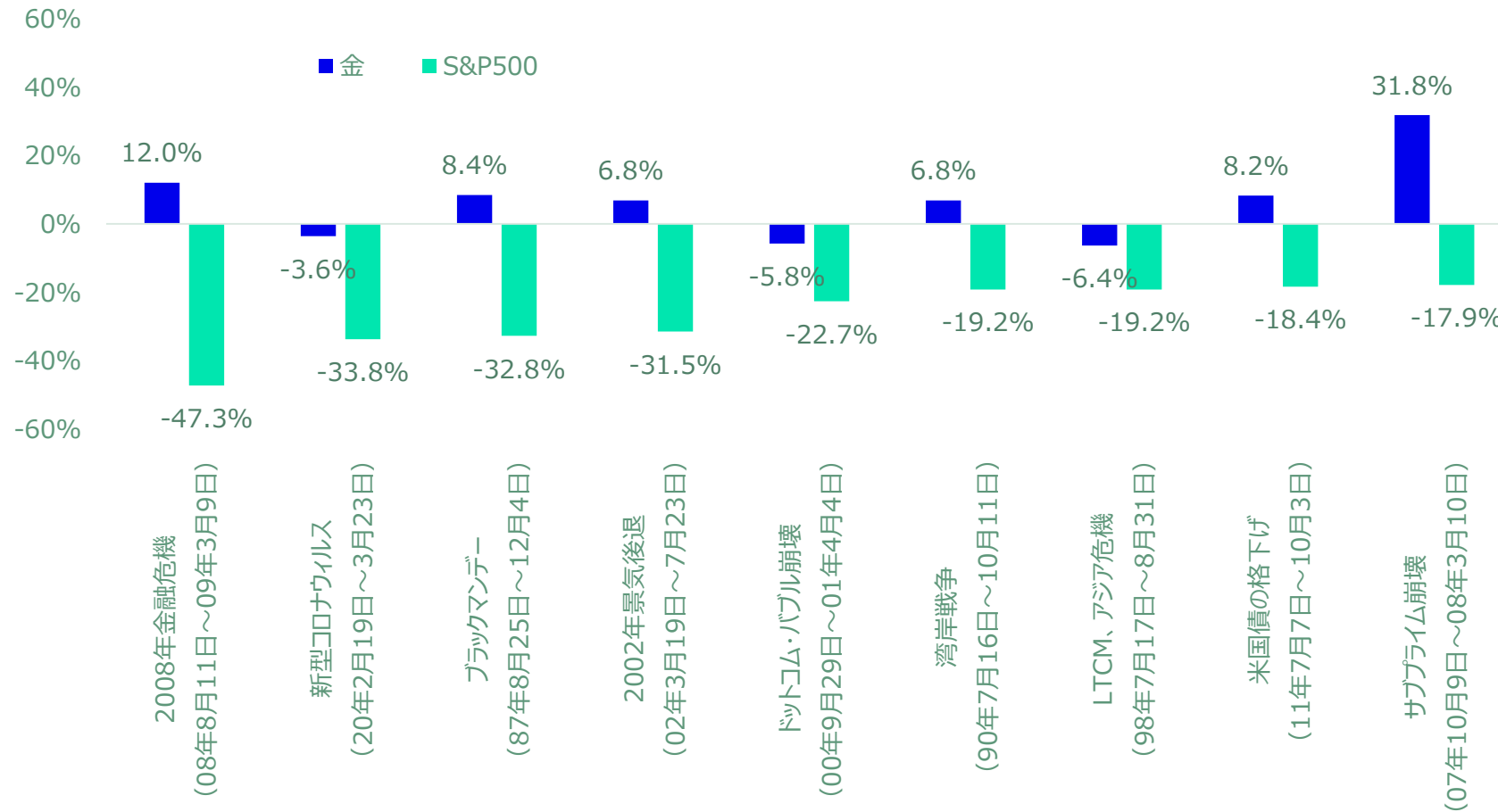
□ 投資商品単体としての魅力

- ✓ 資産価値の保全目的（物価 + α ）
- ✓ 需要増を背景とした長期的な価格上昇期待

□ リスク分散の手段としての魅力

- ✓ 株式との低相関期待
- ✓ 債券利回りの低下余地の縮小

株価下落時における金のパフォーマンス (米ドルベース)



出所：Bloomberg Finance, L.P.、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ。金のパフォーマンスは金スポット・価格を使用。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。上記パフォーマンスには取引コストなどの費用は一切考慮されていません。

SPDR®ブランドが展開する2種類の金ETF

SPDRゴールド・シェア（GLD）および

SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト（GLDM）の主要データ（2020年10月30日時点）

銘柄ティッカー	GLD（NY証取） 1326（東証）	GLDM（NY証取）
金の評価価格	LBMA午後金価格	LBMA午後金価格
ファンド籍／基準通貨	米国 / 米ドル	米国 / 米ドル
ファンド開始日	2004年11月18日	2018年6月25日
ファンド開始日において 1口が表象する金の量	金1/10オンス	金1/100オンス
基準価額	176.61米ドル	18.74米ドル
純資産総額	約760.7億米ドル	約37.0億米ドル
経費率	年率0.40%	年率0.18%

出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
上記データは各参照時点のものであり、随時変動します。あるいは変更されることがあります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

投資目的の例

- 配当利回りを重視したい
- 相場観に合う投資テーマを自身で選びたい
- 株式のリスク分散を図りたい
- 長期運用ポートフォリオを低コストで組みたい

SPDR®ブランドの低コストETF

SPDRポートフォリオ・シリーズ（国内取扱い銘柄、株式）

ティッカー	ファンド名	経費率
SPLG	SPDRポートフォリオ S&P 500 ETF	0.03%
SPMD	SPDRポートフォリオ S&P 400中型株式ETF	0.05%
SPSM	SPDRポートフォリオ S&P 600小型株式ETF	0.05%
SPTM	SPDRポートフォリオ S&P 1500 コンポジット・ストック・マーケットETF	0.03%
SPYG	SPDRポートフォリオ S&P 500グロース株式ETF	0.04%
SPYV	SPDRポートフォリオ S&P 500バリュー株式ETF	0.04%
SPYD	SPDRポートフォリオ S&P500 高配当株式ETF	0.07%
SPDW	SPDRポートフォリオ 先進国株式（除く米国）ETF	0.04%
SPEM	SPDRポートフォリオ 新興国株式ETF	0.11%

2020年10月30日現在
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

SPDR®ブランドの低コストETF

SPDRポートフォリオ・シリーズ（国内取扱い銘柄、債券）

ティッカー	ファンド名	経費率
SPAB	SPDRポートフォリオ 米国総合債券ETF	0.04%
SPSB	SPDRポートフォリオ 米国短期社債ETF	0.07%
SPIB	SPDRポートフォリオ 米国中期社債ETF	0.07%
SPLB	SPDRポートフォリオ 米国長期社債ETF	0.07%
SPTS	SPDRポートフォリオ 米国短期国債ETF	0.06%
SPTI	SPDRポートフォリオ 米国中期国債ETF	0.06%
SPTL	SPDRポートフォリオ 米国長期国債ETF	0.06%

2020年10月30日現在
出所：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

免責事項

免責事項

本資料は、情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法およびその他日本の法律に基づく開示資料ではありません。本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社を含むそのグループ会社が提供する外国籍ETF 等に関する情報を含む投資情報の提供を目的として、グループ会社により作成された資料を元に作成しており、投資の勧誘等を目的とするものではありません。本資料には、日本国内での募集の取扱い等に係る金融庁への届出等がされていない外国籍ETFに関する情報も含まれています。国内の金融商品取引所に上場していないETFについて、金融商品取引法に基づいた発行者開示は行われていません。

本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。また、本資料に記載している各種情報・データは、特に記載のない限り作成時点のものであり、これらは市場動向やその他の状況等によって随時変動し、あるいは変更されることがあります。

本資料に記載している各種シミュレーション・データは、過去のデータに基づき当社モデルを利用したバックテスト結果であり、将来の運用収益を保証するものではありません。実際の運用収益はバックテスト結果から大きく異なる可能性があります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。本資料内の意見は全て当社あるいはグループ会社の判断で構成されており、事前に通知することなく変更される可能性があります。なお、本資料中のステート・ストリートに関する記述には、ステート・ストリート・コーポレーションおよびその関係会社が含まれる場合があります。ステート・ストリートの関係会社は、本資料のETFに関するサービスを提供すると同時に、信託報酬ないしその他の報酬等を受け取ります。

<登録商標等について>

“Standard & Poor’s®”、“S&P®”、“SPDR®”は、Standard & Poor’s Financial Services LLC（以下「S&P」）の登録商標です。“Dow Jones”は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。これらの登録商標は、S&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJI」）が使用許諾を得ており、ステート・ストリート・コーポレーションは特定の目的の使用について再許諾を受けています。SPDJI、ダウ・ジョーンズ、S&P、それぞれの関連会社及び第三者の使用許諾者は、ステート・ストリートが提供する金融商品のスポンサーではなく、これらの商品の推奨・販売・宣伝もしていません。また、SPDJI、ダウ・ジョーンズ、S&P、それぞれの関連会社及び第三者の使用許諾者は、これらの商品への投資の適否に関していかなる意見表明もせず、関連する指数に係るいかなる過誤、遺漏ないし中断等に対しても責任を一切負いません。

その他のインデックス、登録商標ないしサービスマークに関しては、各会社及びその関係会社に帰属し、ステート・ストリートが特定の目的で使用許諾を得ています。本資料のETFの合法性や適合性について、インデックスあるいは登録商標等の帰属する各会社及びその関係会社は、何ら判断を下していません。また、発行・後援・裏書・販売・宣伝もしていません。インデックスあるいは登録商標等の帰属する各会社及びその関係会社は、ETFに関していかなる保証も責任も負いません。また、ETFの資産運用や販売に関していかなる責任も負わず、管理運営に携わることもありません。

ただし、SPDR®ゴールド・シェア（GLD）およびSPDR®ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト（GLDM）については、当ETFのスポンサーをワールド ゴールド カウンシルの関連会社が務めています。ワールド ゴールド カウンシルの名称とロゴは登録商標であり、ライセンス契約に従ってワールド ゴールド カウンシルの許可を得て使用しています。ワールド ゴールド カウンシルは、当資料の内容について責任を負わず、当資料の使用や依拠についても責任を負いません。また、LBMA午後金価格の全ての参照値は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション（ICE Benchmark Administration）の許可のもと、情報提供の目的のみにて利用されます。ICEベンチマーク・アドミニストレーションは、価格の正確さ、および当価格を参照するいかなる商品についての責任も負いません。

免責事項

＜投資にかかるリスクについて＞

ETFは、主に株式や債券などの有価証券、また金などのコモディティ、あるいはその他の資産に投資を行います。投資対象としているこれらの資産の値動きにより、ETFの基準価額が下落することがあります。これらの資産への投資には、市場リスク、金利リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク、流動性リスク等、様々なリスクがあり、ETFも同様のリスクが伴います。これらのリスク要因により、ETFの市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETFは流通市場において株式と同様に取引されますが、取引価格は変動し、基準価額を下回ることがあります。また、常に取引可能であるとは限らず、市場環境が悪化している場合は、取引価格が大幅なディスカウントとなる可能性があります。ETFには上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となることがあります。これらは主なリスクであり、ETFへの投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

なお、コモディティETFやコモディティ指数連動証券は、市場全体動向の変化、金利の変化、および対象資産となるコモディティへの投機や裁定に係る取引活動に加え、天候や病気、通商条件あるいは政治や規制の展開の様な他の要因によって影響を受ける可能性があります。SPDR®ゴールド・シェア（GLD）およびSPDR®ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト（GLDM）の価値は、経費控除前で、当ETFが裏付けとして保有している金の価値に直接連動しており、金価格の変動によって大きく下落する可能性があります。なお、金自体はインカム収入を生まないため、当ETFの経費は裏付けとして保有している金を売却して充当しています。そのため、当ETF一口あたりが表象する金の量は時間の経過と共に減少します。

＜ETFの投資にかかる一般的な留意事項＞

元本保証はされていません。

ETFの一口あたりの純資産額の動きと連動を目指す特定の指数等の動きが乖離する可能性があります。

市場価格とETFの一口あたりの純資産額が乖離する可能性があります。

＜手数料・費用について＞

ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ資産の売買の際に発生する手数料、ライセンス・フィー、監査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、事前に上限額を示すことができません。本資料の掲載情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により将来予告なく変更されることがあります。

※取得のお申し込みにあたっては、必ず上場有価証券等書面又はその他の開示書類の内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。

※購入のお申し込みや売買手数料等につきましては、当ETFを取扱いの金融商品取引業者（証券会社）までお問い合わせ下さい。

免責事項

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー25階

金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第345号

加入協会： 一般社団法人 日本投資顧問業協会、 一般社団法人 投資信託協会、 日本証券業協会

© 2020年 State Street Corporation – 無断複写・転載を禁じます。

3323513.1.1.APAC.RTL 本資料失効日：2021年11月30日

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.45%（0.495%）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：20米ドル（22米ドル）

中国株式 約定代金の0.5%（0.55%）・最低手数料：500円（550円）・上限手数料：5,000円（5,500円）

アセアン株式 約定代金の1.00%（1.10%）・最低手数料：500円（550円）・手数料上限なし

※（）内は税込金額

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,000円（税込2,200円）が追加されます。

ETF／ETNのリスク(抜粋)

複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のロールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

ETFにおける信用リスク

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

ETN発行体の信用リスク

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

早期償還等のその他のリスク

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合などは、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF／ETNのリスク」をご覧ください。